

全県的な地場産物活用の推進～学校給食における地場産物活用の取組～について

現状

- 食の安全性に関する正しい知識の浸透不足
- 学校給食における地場産物活用割合が震災前と比べて大きく低下
- 子どもの体力低下、肥満の傾向が顕著
- 風評により県産農林水産物の価格が低迷

学校給食における地場産物活用割合		
H22年度	H24年度	H25年度
36.1%	18.3%	19.1%

学校給食に県産米を使用している市町村		
H22年度	H24年度	H25年度
100%	89.7%	91.4%

農産物直売所の販売額		
H22年度	H23年度	H24年度
160億円	141億円	167億円

取組の方向性

食の安全性に関する情報の共有
消費者の幅広い理解を促す

全県的な地場産物活用
県民総ぐるみで県産農林水産物の消費拡大や食育を強く推進
(家庭、地域、事業者等)

子どもたちの体力向上と健やかな成長

学校給食における地場産物活用
ふくしまの食と農の理解促進や地域食文化の継承

地産地消
食育

具体的な取組

- 食の安全・安心の推進**
食と放射能に関する正しい情報提供のためのリスクコミュニケーションの強化 (生活環境部)
- 学校・家庭・地域が一体となって取組を促進**
- 学校給食地場産物活用事業**
給食に地場産物を取り入れる市町村等の取組を支援 (教育庁・農林水産部)
- 地産地消運動**
地域自らが地域資源に愛着を持って積極的に利活用 (企画調整部)
- ふくしまからはじめよう。「食」と「ふるさと」新生運動**
県産農林水産物の消費拡大と食育の推進 (農林水産部)
- ふくしまのおいしい「食」で元気になる食育プロジェクト**
福島で育まれた美味しい食材で健康な体をつくる (保健福祉部)

全県的な地場産物活用の推進
学校給食における地場産物活用の取組

目指す水準

学校給食における地場産物活用割合	学校給食で県産米を使用している市町村の割合
H25年度 19.1%	H24年度 89.7%
H32年度 40.0%以上	H32年度 100%

農産物直売所の販売額	「がんばろう ふくしま！」応援店の登録数
H23年度 141億円	H24年度 2,083店
H32年度 234億円以上	H32年度 3,000店以上

総合計画「ふくしま新生プラン」の目標値の一部確定について

復興・総合計画課

指標の名称	目標値 (確定後)		目標値 (策定時)		現況値		個別計画
学校給食における地場産物活用割合	H32年度	<u>40.0%以上</u>	H32年度	<u>上昇を目指す</u>	H25年度	19.1%	第6次福島県総合教育計画